

いきものたちの全国ツアー！
巡回企画展「雨といきもの展」を開催します
9月29日(金)～11月9日(木)

生き物は、雨とどのように関わりながら過ごしているのでしょうか？

「雨といきもの展」は、“生き物にとっての雨の恵み”をテーマにした展示です。

色々な生き物の立場から雨をみてみると、雨とのつきあい方は実に多様であることがわかります。

普段と違った視点から雨を眺め、雨とのつきあい方について考えてみましょう。

この企画展は、日本全国で巡回展示を行っています。

「あいぽーと」では平成27年から毎年開催しており、今回で3回目となります。

【開催場所】北上川学習交流館 あいぽーと（岩手県一関市狐禅寺字石ノ瀬155-81）

【開催期間】平成29年 9月29日(金)～11月 9日(木)

【開館時間】9時00分～17時00分

【休館日】毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

【入場料】無料

【展示内容】“生き物にとっての雨の恵み”をテーマにした展示を、日本各地を旅する3匹のカエル「アマツブ楽団」がご案内します。



- 映像で降ってくる雨の言葉と触れ合うインタラクティブ展示「ことばあめ」、
- 雨と生き物に関する絵本「雨といきもの物語」、●「アマツブクイズ」、
- 雨音の楽器などの体験展示「雨の音で遊ぼう」など。

《発表記者会：東北専門記者会、岩手県政記者クラブ、一関市政記者クラブ》

＜問い合わせ先＞

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

〒020-0066 岩手県盛岡市上田4丁目2-2

副所長（河川担当） みうら よしあき 三浦 義昭（内線 204）

調査第一課長 いわさわ ひろあき 岩沢 博章（内線 351）

調査第一課直通TEL：019-624-3166

「雨といきもの展」の展示ユニットについて

- 「雨といきもの展」の展示ユニットは、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」によって企画・開発されました。

「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」は、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館で巡回展示しています。巡回展示の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動している団体です。下は展示の一例です。

雨といきもの物語(絵本)

日本各地を旅するアマツツ楽団と、カワラノギク(花)、ヒヌマイトトンボ(昆虫)、イタセンパラ(魚)、アカメ(魚)との出会いを絵本で紹介しています。



ことばあめ(インタラクティブ映像展示)

スクリーンの前に立つと、自分の姿が映し出されて上から言葉の雨が降ってきます。頭の上に傘マークが出たら、降ってくる言葉の雨をキャッチしましょう。



北上川学習交流館「あいぽーと」(国土交通省 一関防災センター) について

- 「あいぽーと」は、北上川の風土と民俗、歴史と文化、災害と治水などの種々の情報を広く発信し、学習体験や流域内の交流を図るための総合情報拠点^{※1}であるとともに、災害時における防災活動拠点^{※2}となる施設です。

施設は、1階に展示室、学習スペース、2階に一関遊水地集中管理センター、3階に展望室などを有しています。



※1 総合情報拠点として

展示室(1階)には、北上川流域や災害などのパネル展示、北上川流域全体の航空写真(20×6m)、治水に関する模型、北上川に関する図書などがあります。

展示室、展望室(3階)は、自由に見学することができます。

また、学校関係団体や一般団体の館内見学、学習の受付を随時行っています。学習内容は、過去の水害、北上川の特徴、一関遊水地、防災センターの役割、館内施設見学などです。

※2 防災活動拠点として

災害時は、防災センターとして、状況把握と復旧対応を行う拠点となります。

平成20年6月の岩手・宮城内陸地震、平成23年3月の東日本大震災では、国土交通省の現地対策本部が設置され、テックフォースの派遣及び災害復旧の拠点などとして機能しました。

- あいぽーとの展示室には、常設展示として“北上川にすむ動植物”コーナーがあります。今回の巡回企画展「雨といきもの展」と併せて見学することで、いろいろな生き物についてより一層、知ることができます。



北上川の上流、中流、下流ごとに、動植物を個々に解説しています。



北上川に棲む魚、水生昆虫、陸生昆虫の標本を展示しています。

雨のいきもの展

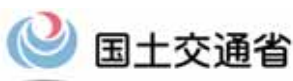
雨がふったら はじまるよ
いきものたちの 全国ツアー！



- 開催場所 = 北上川学習交流館 あいぽーと
- 開催期間 = 平成 29 年 9 月 29 日(金)~11 月 9 日(木)
- 休館日 = 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
- 開館時間 = 9:00 ~ 17:00
- 主催 = 国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所
- 共催 = 一般社団法人 東北地域づくり協会 ●企画制作 = 水の巡回展ネットワーク
- 協力 = NPO 法人 気象キャスターネットワーク、ファン ザ ミューズ、土木研究所 自然共生研究センター、
東京学芸大学 環境教育研究センター、東京学芸大学 グラフィックデザイン研究室、
九州産業大学 芸術学部メディアラボ 331、日本河川・流域再生ネットワーク



モートンイトトンボ
Mortonagrion selenion (トンボ目)



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

雨といきもの展

よアほ
るマく
しくツら
しくフは
くね！ 楽
団 ☆



●みなさん

は雨がすきですか？きらいですか？

●雨の音がすき、長靴が

すき、傘をもって歩くのが面倒、ぬれて大変、人それぞれ雨に対する

いろいろな想いがあると思います。●では、

私たち人以外のいきものは、雨とどのように関

わりながら過ごしているのでしょうか。●いろいろな

いきものの立場から雨をみると、雨とのつきあい方

は実に多様であることがわかります。●雨を待っているカエル、

雨粒をはじく羽をもつチョウ、川の増水でつくられた場所

を好む魚や植物、みんな雨と上手くつきあいながら暮らしている

のです。●この企画展では、いきものにとっての雨の恵みをテーマ

にした展示を、日本各地を旅する3匹の「アマツブ楽団」がご案内

します。●日本の雨の特徴、雨に関する研究成果などのパネル、

雨といきものに関する絵本展示やクイズ、雨音の楽器などの体

験展示もあります。●そして、注目は映像で降ってくる雨の

言葉と触れ合うインタラクティブ展示“ことばあめ”。

●アマツブ楽団と一緒に、ふだんと違った視点から

雨を眺め、雨とのつきあい方について

考えてみましょう。

▼インタラクティブ展示“ことばあめ”



▼いきものたちとのであいを絵本で紹介



あ日本
えろ各
るい地
かろを
もな旅
ね仲し
間たて
ちに



この展示は、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」によって企画・開発されました。水の巡回展ネットワークでは、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館に巡回しています。巡回の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動しています。



北上川学習交流館 あいぽーと

【交通】 総合体育館（ユードーム）バス停から 歩いて約5分
 JR一関駅から クルマで約10分
 JR山目駅から クルマで約10分
 東北自動車道 一関ICから クルマで約15分

【入場料】 無料
 【住所】 〒029-0131 岩手県一関市狐禅寺字石ノ瀬155-81
 【問い合わせ】 あいぽーと事務局
 0191-26-0077



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』
 ～風化させない歴史とつなげる未来～